



角田宇宙センターの

お仕事紹介



角田宇宙センターではロケットエンジンなどの研究・開発を行う技術系の職員のほかに、社屋管理、資産管理、契約・取引や会計、広報などを行う事務系の職員が仕事をしています。今回は契約業務を担当する職員のお仕事を紹介します。



やました りょうたろう

山下 遼太郎

研究開発部門研究推進部 角田管理課

プロフィール



放課後は山で遊ぶ幼少期を経て、中学生から2年間の山村留学に挑戦。東京に戻るも自然の暮らしが忘れられず、プライベートでは、子どもキャンプボランティアに参加、大学では山村集落の地域経済学を専攻。1年間の海外放浪を経て就職活動に取り組む。

2021年、最も自然豊かな角田宇宙センターに配属となり、研究開発を支える契約業務を担当している。

趣味はギターと望遠鏡を持ってキャンプに行くこと。アルバイトで4年間バーテンダーをしていたため、最近は自宅にBarを作ろうか真剣に検討中。

これまで携わってきた業務と現在の仕事内容

僕は文系職員として、JAXAの研究開発を支える契約業務を担当しています。JAXAは企業・研究機関・官公庁と様々な取り組みを行っており、僕は窓口としてお金や法律に関わる仕事をしています。また、学んだ知識を活かし、広報としてJAXAの紹介も行っています。先日(2021/11/14)、YouTubeで配信された角田宇宙センターのオンライン特別公開では、MCを務めました。

Q&A

- Q** 学生時代、得意だった科目、苦手だった科目を教えてください
A 理科が好きで、英語は大の苦手でした。それでも外国に友達ができたくて勉強するきっかけになり、克服することができました。
- Q** 中学生時代の学習・体験で、今の仕事に役立っていることはありますか？
A キャンプ好きが高じて、中学の2年間、親元を離れて山村留学に挑戦しました。村の中学校に通いながら田畑を耕し、ご飯を作り、薪でお風呂を焚く生活の中で暮らしを学びました。年代の異なる仲間と共同生活をする中で何事にも挑戦する力がつき、それ以来、実行委員会や生徒会など、人前に立つ仕事にも取り組めるようになりました。
- Q** 進路や就職先を決める上で何か悩んだことはありましたか？
A 恥ずかしい話ですが、就職活動の最終場面まで「お金かやりがい」で悩みました。給料の高い企業に勤めることより、「話題の最前線でやりがいをもって働く」という選択で今この仕事をしています。
- Q** 学生時代と今の自分に変化はありますか？
A 社会人になると忙しくなるので、時間を大切にしようと思うようになりました。お休みの日も充実できるように予定を立てています。
- Q** 宇宙人はいると思いますか？
A 必ずいると思います。環境が違えば、地球上の生物とは姿も生態も違うのではないのでしょうか。



ある1日のスケジュール

- 7:30 起床
朝のニュースを目覚まし代わりに。30分かけて、ゆっくり起きています(笑)
- 8:00 準備開始
身支度を整えます。
- 9:00 出発
- 10:00 調達内容の確認
研究者の要望を正しく理解し、お金をムダなく、適切に動かせる調達方法を決める。(技術的な内容が多くて難しい！)
- 11:00 調達依頼者との打ち合わせ
懸念点や分からないことはとことん話し合い！(とても勉強になる)
- 12:15 お昼休み
食堂でご飯を食べて、たまにバドミントンを楽しみます。(部活はずっとテニス部でした！)
- 13:00 調達依頼者との打ち合わせ
懸念点や分からないことはとことん話し合い！(とても勉強になる)
- 15:00 契約相手方との調整
長いと1ヶ月以上かかる大切な場面。JAXA外の企業との商議は緊張しますが、社会人としての責任とやりがいを感じます。
- 17:00 契約書完成
上司のチェックを受け、契約締結！
- 19:00 広報動画作成
自分の特技を活かして、動画制作中！JAXAのTwitterやYouTubeに載せていきますので、ぜひご覧ください！
- 21:00 夜のひととき
好きなテレビを観たり、東京の友達と電話して過ごしています。(早く宮城で友達をつくりたい…(笑))
- 24:00 就寝
睡眠時間はとても大切！社会人になってから、良いベッドにしたり、リラックスできる音楽を流して工夫しています。

9:30 ~ 17:45 勤務時間

T先輩から山下くんへ応援メッセージ

新任配属から半年、肩の力はまだ抜けきれていないようですが、担当する業務の領域を徐々に広げてもらっており、だいぶ助けられています。職場の域を超えて角田市、仙南地域でどんどん活動してもらって、磨かれていってほしいと思いますね。

学生の皆さんへ

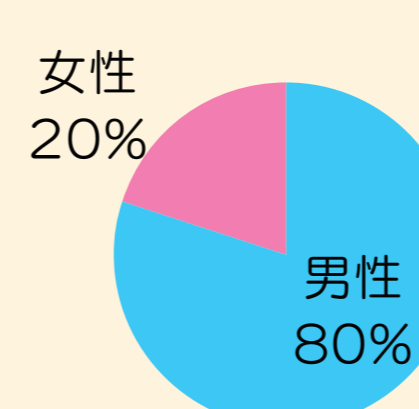
進路を考えるのが難しく感じる方は、自分の目標や憧れにまだ出会っていないだけかもしれません。僕もそうでした(笑) たくさんの場所に旅して、色々な人の話を聞いてみると、思いがけない出会いがあると思います！
学生生活、楽しんでくださいね！



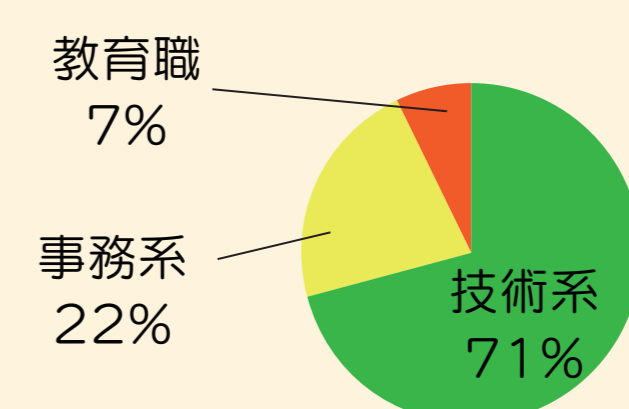
JAXAのおはなし

JAXAは東京都調布市(本社)をはじめ、筑波、相模原、種子島など国内に20か所、ワシントンやパリなど海外に5か所の事業所があります。JAXA全体では1575名の職員が働いていて、男女比率は8:2です。職種別では、研究・開発を行う技術系の職員のほか、事務系の職員も在籍しています。

男女比率



職種別



(2021年4月現在)



Q この仕事に興味を持ったきっかけは何ですか？

A 幼い頃から宇宙への興味はありましたが、同時に遠いものだと感じていました。進路を考える時期に文系職として宇宙開発に携われることを知り、話題の最前線で活躍する技術者・研究者と一緒に仕事がしたい！という思いから就職活動に挑戦しました。

Q 思い描いていた仕事と現実のギャップはありますか？

A JAXAには自分が想像していたよりもたくさんの仕事があることを知りました。これから挑戦してみたいことが山ほどあるので日々の仕事の励みになっています。

Q これから取り組みたい仕事や将来の夢は何ですか？

A 宇宙開発などの科学技術は、まだまだ身近ではない国が多いと考えています。僕はJAXAの仕事で学びを深め、子どもたちの宇宙を身近にする活動を続けていきたいです。



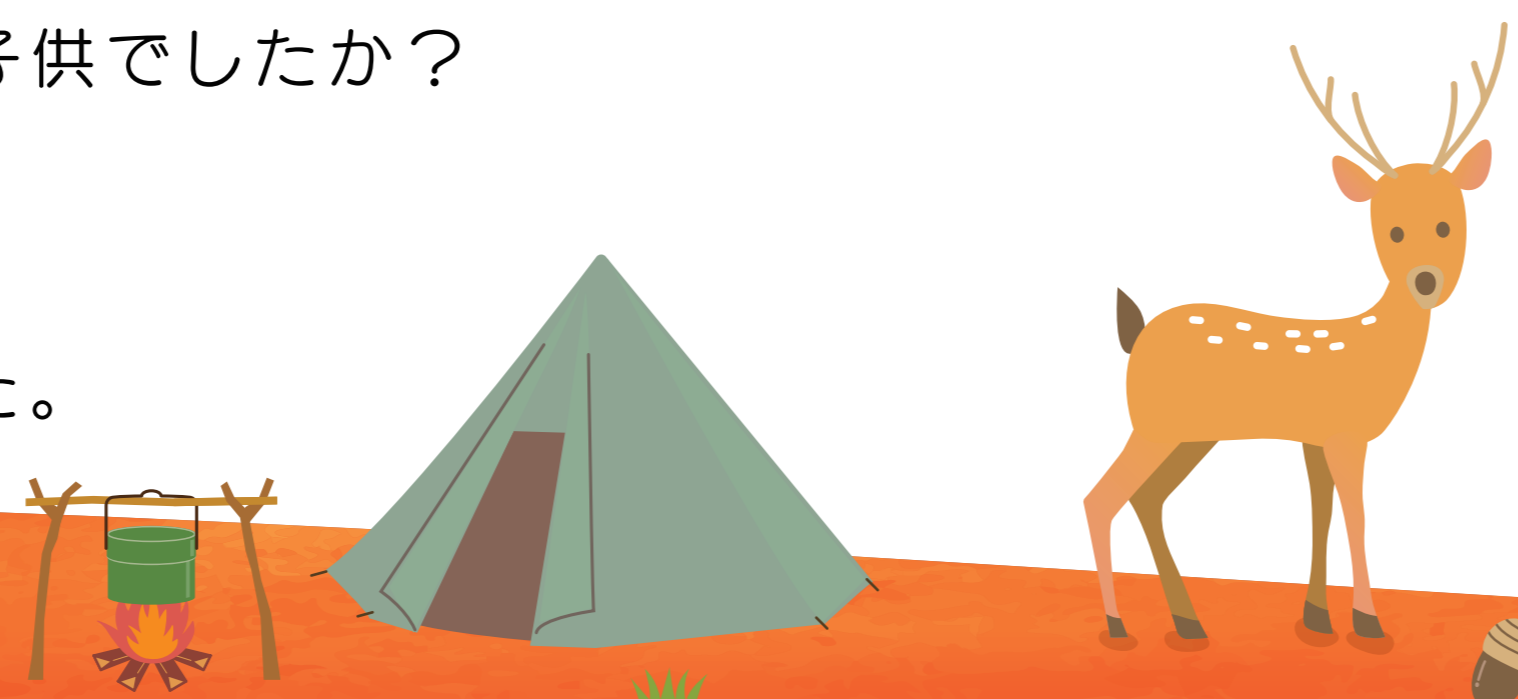
Q 子供のころの夢は何でしたか？

A 僕の将来の夢はパイロットでした。小学生が一人で飛行機に乗ると、決まっていつもCAさんと最後に降りてきます。たまにパイロットの方とお話していましたが、その際のお話と姿に憧れを持ちました。その気持ちがロケットや宇宙に向くのも時間の問題でした。



Q 子供（小中学生）のころは、どんな子供でしたか？

A アウトドアが好きで、放課後は友達と山に向かう子供でした。



Q 学生（子供）のころ、何か自分に（自分の進路に）大きな影響を与える出来事がありましたか？

A 僕の両親は留学経験があり、家族でよく海外旅行に行っていました。そのため、幼い頃から海外で働きたいという夢がありました。JAXAは海外の事業所もあるので、いつか挑戦してみたいです。

Q 学生時代、何が一番楽しかったですか？

A 海外でボランティア旅に挑戦した1年間は忘れられない思い出です。たくさんの出会いとキャンプのような生活、数々の事件を乗り越えた経験は、どこでも生きられるという自信になりました。



Q 学生時代はどのようなことを学びましたか？

A 大学では国際経済学を専攻しました。「国際」分野では海外で貧困・難民・教育格差に向き合い、「経済」分野では限界集落の地域経済を研究しました。どちらも地域に入り込み、自身が体験した課題を研究対象とすることで、教科書では学べないリアルな現状を体験・学習することができました。

Q 休日の過ごし方を教えてください

A 東北に来たばかりなので色々な場所に出かけています。望遠鏡とギターを車に積んで、景色のきれいな場所に行くのが趣味になりました。



Q 尊敬する偉人はいますか？ それは誰ですか？

A ジョン万次郎です。船で難波し漂流しているところを外国人に助けられ、一人で異国で生き抜いた力と、その経験で幕末を支えた生き様を尊敬しています。実は家系らしい…？

